

事務事業名 地域活性化商品券補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1385

施策：	04	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	財務コード	01060102-17-00
基本事業：	02	市内・地元商店街における消費の拡大	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	日用品を市内で買っている 市民の割合		担当課	商工観光課
	日用品を市内商店街で買っている市民の割合		担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成21年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画																																																																																		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）																																																																																						
商工会			商工会が発行する商品券により、市内の消費拡大、地域経済の活性化に寄与する目的に事業を実施する。事業費としてプレミアム分等を補助するもの。 【令和2年度】 1冊10,000円（500円×24枚）を30,000セット販売、プレミアム率は20%。 共通券（大型店、小型店で使える） 一般券（大型店では使えない）の2種類の券を発行した。																																																																																						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）																																																																																						
筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化につなげる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>01年度</th> <th>02年度</th> <th>03年度</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th rowspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型店以外での利用額</td> <td>千円</td> <td>102,681</td> <td>213,954</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標	実績	実績	当初	要求	計画	計画	大型店以外での利用額	千円	102,681	213,954	100,000	100,000			180,000																																																									
成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標																																																																																	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																		
大型店以外での利用額	千円	102,681	213,954	100,000	100,000			180,000																																																																																	
5. コスト			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th>計</th> <th>千円</th> <th>10,000</th> <th>30,000</th> <th>30,000</th> <th>10,000</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般</td> <td>千円</td> <td>10,000</td> <td>30,000</td> <td>30,000</td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人工数</td> <td>人工</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,613</td> <td>1,606</td> <td>1,584</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(事業費+正職員人件費)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>11,613</td> <td>31,606</td> <td>31,584</td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業費	計	千円	10,000	30,000	30,000	10,000				国	千円	0		0	0				県	千円	0		0	0				地方債	千円	0		0	0				その他	千円	0		0	0				一般	千円	10,000	30,000	30,000	10,000			正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2				正職員人件費	千円		1,613	1,606	1,584				トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		11,613	31,606	31,584	10,000		
事業費	計	千円	10,000	30,000	30,000	10,000																																																																																			
		国	千円	0		0	0																																																																																		
	県	千円	0		0	0																																																																																			
	地方債	千円	0		0	0																																																																																			
	その他	千円	0		0	0																																																																																			
	一般	千円	10,000	30,000	30,000	10,000																																																																																			
正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2																																																																																				
正職員人件費	千円		1,613	1,606	1,584																																																																																				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		11,613	31,606	31,584	10,000																																																																																			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）			あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下） 【令和2年度】 500円券×24枚=12,000円分を10,000円で販売。共通券12枚（大型店でも使用可）、一般券12枚（大型店不可）。一般券を使用した方に対して景品が当たる抽選を行い、大型店以外での利用促進を図った。大型店以外で使用した割合が60%程度という結果が出ており、確実に地域の商工業者の活性化に繋がっている。また、コロナ対策として商品券引替時の密を避けるため、引替時間を分散し人流の整備に努めた。 平成27年度からこれまでの先着順から先行予約制に販売方法を変更し、安心して購入できるようにした。 平成30年度から大型店扱いの店舗を増やし、一般券が中小店舗へのシフトするよう工夫した。																																																																																						
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象動向</th> <th>維持</th> <th>類似事業</th> <th>なし</th> <th colspan="5" rowspan="5">地域経済の活性化のための事業として必要である。国の経済動向が緩やかな回復基調にあるなか、個人消費の伸び悩みなど、商店街をはじめ地域経済は依然厳しい状況にある。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手段効率化余地</td> <td>なし</td> <td>コスト削減余地</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>公的関与</td> <td>妥当性がある</td> <td>受益者負担</td> <td>余地なし</td> </tr> <tr> <td>上位貢献度</td> <td>影響度は大</td> <td>業務推進課題</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地</td> <td>大きい</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						対象動向	維持	類似事業	なし	地域経済の活性化のための事業として必要である。国の経済動向が緩やかな回復基調にあるなか、個人消費の伸び悩みなど、商店街をはじめ地域経済は依然厳しい状況にある。					手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし	成果向上余地	大きい																																																										
対象動向	維持	類似事業	なし	地域経済の活性化のための事業として必要である。国の経済動向が緩やかな回復基調にあるなか、個人消費の伸び悩みなど、商店街をはじめ地域経済は依然厳しい状況にある。																																																																																					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし																																																																																						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし																																																																																						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし																																																																																						
成果向上余地	大きい																																																																																								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了																																																																																	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）																																																																																									
使用できる店舗を増やすなど、より魅力的な事業になるよう検討が必要である。																																																																																									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄																																																																																						
市内での消費拡大と地域経済の活性化を図る目的で平成21年度から事業を実施している。 平成29年度：15%、1億4千万円で実施 平成30年度、令和元年度：10%、1億5千万円で実施 令和2年度：20%、3億円で実施																																																																																									